

口永良部島

概況

火山性地震の発生回数は 97 回と多い状態が続き、地震活動はやや活発な状態で推移しました。

地震・微動活動の状況

A型地震の回数は1日あたり0～21回で月回数は54回(3月:40回)、B型地震は1日あたり0～12回で月回数は43回(3月:40回)と昨年の月平均40回と比べ多い状態が続きました(図1～2、図4～7)。振幅の小さな火山性微動を16回(3月:5回)観測しました(図3、図8～9)。また、19日20時頃から24時にかけて地震活動が活発化し、体に感じない火山性地震が33回、継続時間が3分間の火山性微動が1回発生しました。

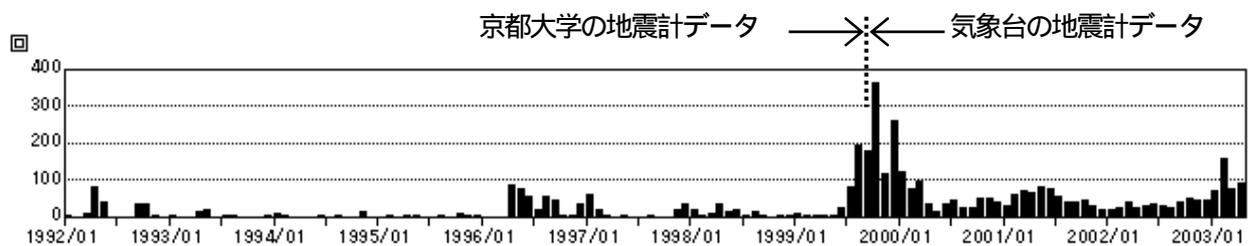


図1 火山性地震の月別回数(1992年1月～2003年4月)
(1999年9月12日までは、京都大学が口永良部島観測点の地震計で計数したデータを利用)

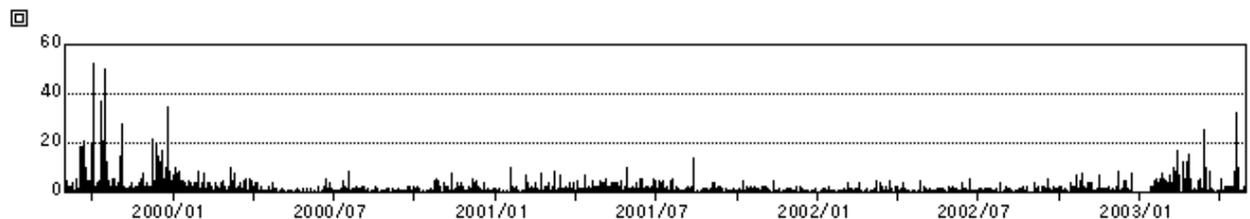


図2 火山性地震の日別回数(1999年9月12日～2003年4月30日)

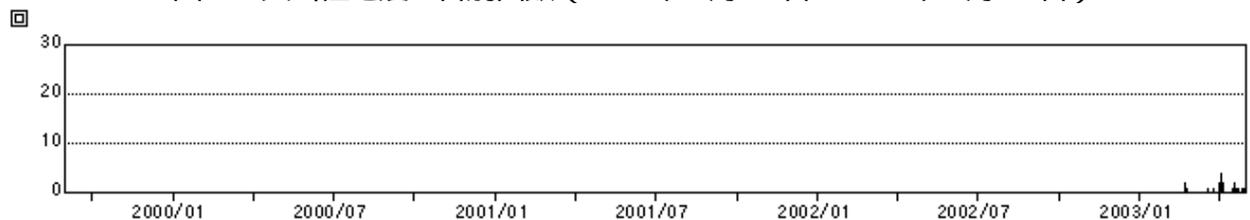


図3 火山性微動の日別回数(1999年9月12日～2003年4月30日)

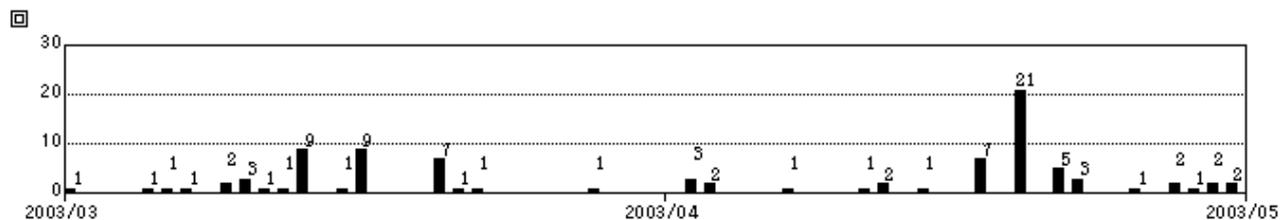


図4 A型地震の日別回数(2003年3月1日~4月30日)

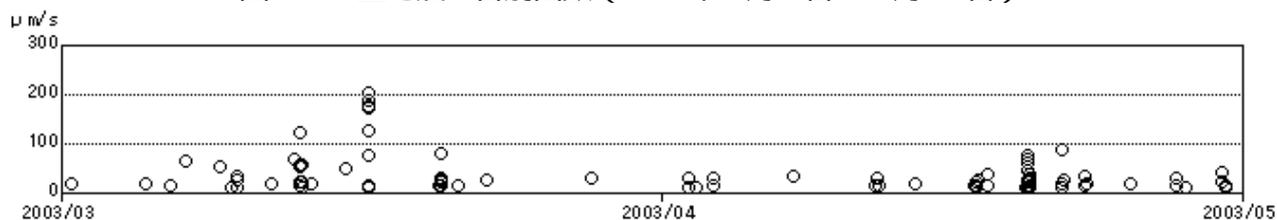


図5 A型地震の最大振幅(2003年3月1日~4月30日)

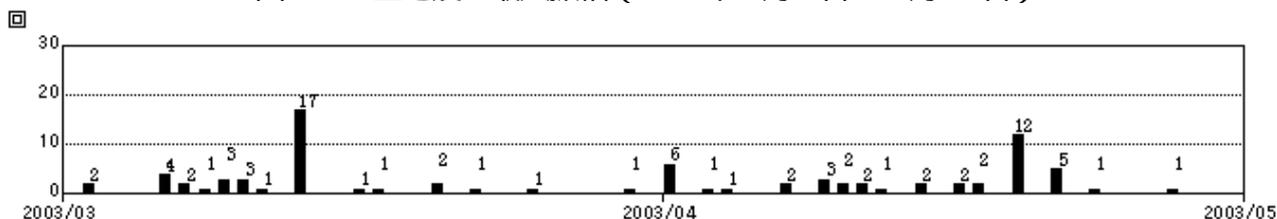


図6 B型地震の日別回数(2003年3月1日~4月30日)

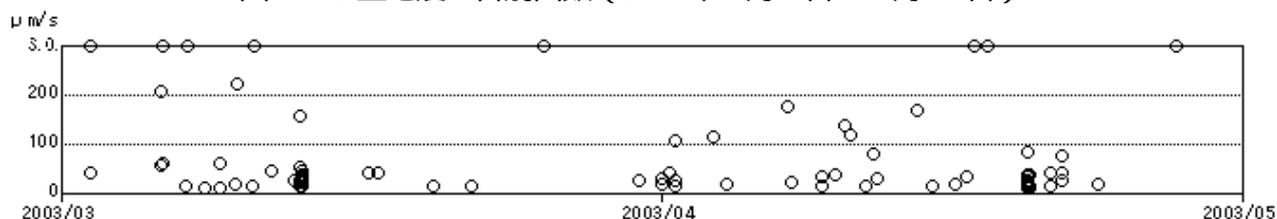


図7 B型地震の最大振幅(2003年3月1日~4月30日)

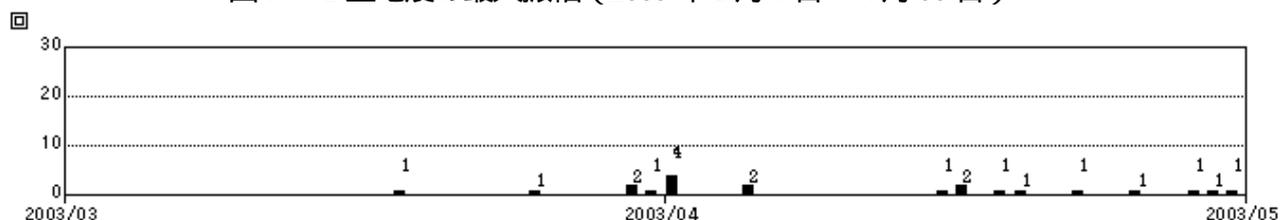


図8 火山性微動の日別回数(2003年3月1日~4月30日)

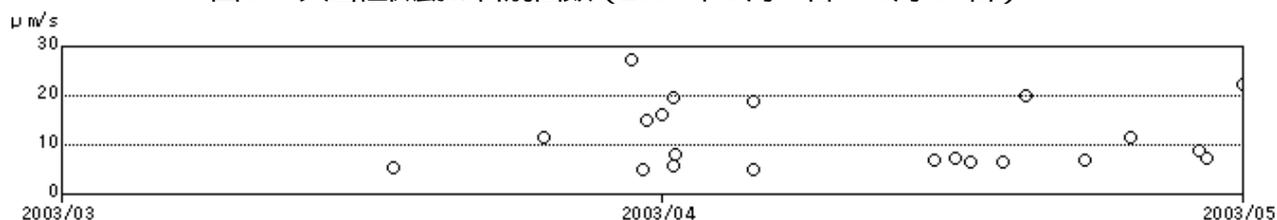


図9 火山性微動の最大振幅(2003年3月1日~4月30日)

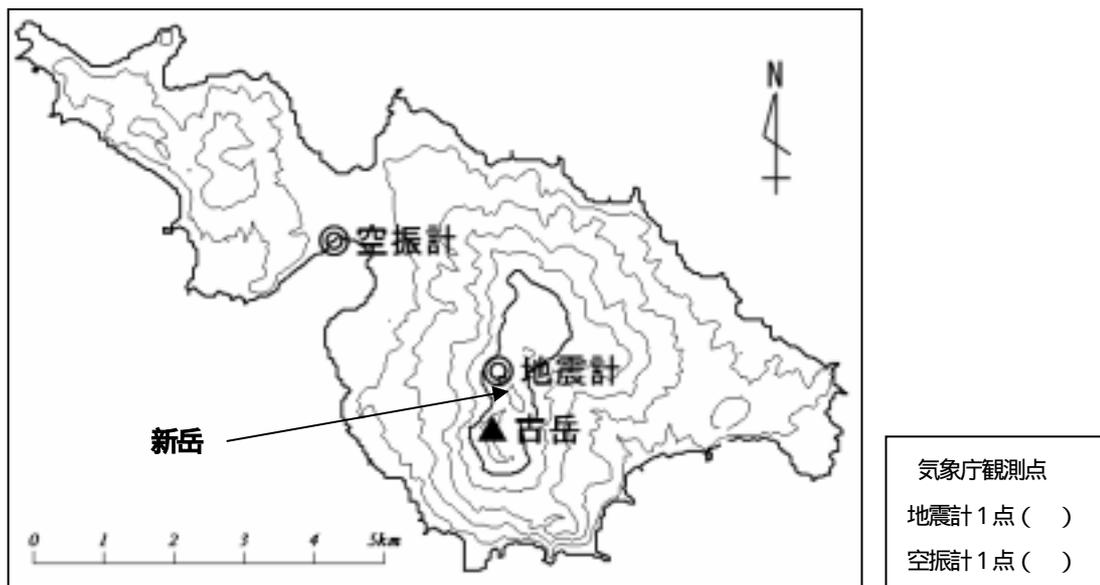


図10 観測点配置図